

# 育成

モノづくり人材

Vol. 32

## 愛知県立豊田工業高校

愛知県立豊田工業高校は、地元産業界からの強い要望を受けて1971年に開校した。機械科、自動車科、電



神谷校長

子機械科、電子工学科の4学科がある。これまで一貫して大切にしてきたのは、人づくりに構え、トヨタやその関連企業など地元の大企業からの求人が多い。「500社ほ

# 社会に役立つ人間力磨く

視する。卒業後ほとんどの生徒が就職する工場の約90社（神谷校長）と恵まれた就出たときに必要とされる環境だ。卒業生1万人強のうち、1000のユニケーション力を持つ人材を育成する」と

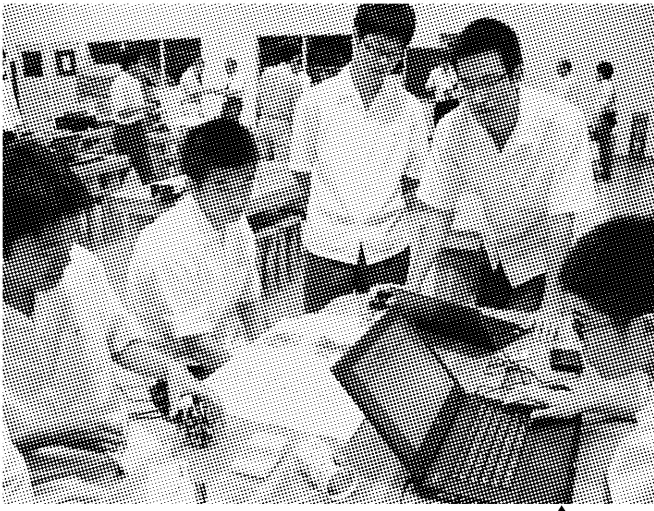
特に企業や大学、地習の場になる。外部連携でユニークなのが3年生の「課題研究」だ。同じ学科の生徒8人ほどでチームを組む。課題解決のために行動する。電子工

遊具、玩具を補修する。15年には園児を招き、実習場を案内する。知的障害者向けに足踏み式や、肢体不自由者向けに電動式の機器を作った。

15年からは愛知県立高浜高校（愛知県高浜市）福祉科と連携して介護用手動ベッドの電動化に取り組む。

【DATA】▷校長=神谷弘一氏▷所在地=愛知県豊田市▷学科構成=機械科、自動車科、電子機械科、電子工学科▷生徒総数=713人▷主要設備=旋盤、溶接機、測定器、ハイブリッド車(HV)、燃料電池車(FCV)など▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、ジェイテクトなど

の「技能五輪全国大会」に出場する選手を呼んだ。高技術力を学べる。選手側は使い慣れていない機械や工具を使った練



研究課題に取り組む機械科の生徒

外部連携で技術力や課題解決力、コミュニケーション力の向上に取り組みが、目的は他にもある。それは「モノは作って終わりではなく、使って初めて人の役に立つ」（同）と学ぶことだ。社会で必要とされる技術者になるために、使い手の視点に立ったモノづくりの大切さを伝える。

（名古屋・一色映里奈）  
（金曜日に掲載）